

## じゃがいもの収穫をしました

5月に畑の先生の竹本さん(向本折校下民生児童委員)とじゃがいもの種イモ植えをしました。散歩中に畑の前を通り、「葉っぱ伸びてきたね」などと友だち同士で話しながらじゃがいもの収穫を楽しみにしていました。7月に年長・年中・年少組の子どもたちがじゃがいもの収穫を行いました。



種芋を植えました



たくさん収穫しました



じゃがいも掘りの様子



じゃがいもの茎の下を嬉しそうな表情で掘る姿が見られました。収穫したじゃがいもは家庭に持ち帰ったり園の給食で調理をしてもらったりしておいしく食べました。秋にはさつまいもの収穫や竹本さんと大根の植えも予定しています。今後も様々な食育体験をしていきます。

## みあいっこ(園内公開保育)を行っています

松陽こども園では「みあいっこ」から教育・保育の質の向上に繋がっています。「みあいっこ」とは、お互いの教育・保育を見せ合うことです。他クラスの保育を職員が見たあとは、午後に園内研修を行い、職員間で保育の悩みや課題、気付いたことなどを伝え合っています。職員が自分の保育を振り返る良い機会としています。

7月のみあいっこでは、向本折小学校の校長先生、町内会長や民生児童委員など地域教育関係者、施設関係者、講師の方々をお招きし年長組の保育を見ていただきました。

年長組では6月の松陽祭り(夏祭り)を親子で体験した後お祭りごっこが盛り上がっていました。「射的」「魚釣り」「お面や」「宝探し」「おぼけやしき」等子どもの様々な思いや願いを形にしてお店作りを楽しんでいます。当日はその準備の様子を見て、ご意見や評価を頂きました。

また、当日は防災無線の活用等、地域で子どもを見守ること等子どもの安全についても話題になりました。向本折校下の地域のみなさんで、松陽こども園の子どもたちを温かく安全に見守っていただければと思います。今後とも、よろしくお願い致します。



様々なご意見、励ましをいただきありがとうございました。

## 地域にお住いの先生との触れ合い

### よさこい教室の山中先生

須天町の山中妙子さんに月に2回年長組によさこいを教えて頂いています。子どもたちは、教室の日を楽しみにしています。先生の動きを真似して積極的に身体を動かしています。柔軟体操から始まり、先生と顔を見合わせ、笑いながら楽しい雰囲気の中で行われています。その都度、踊る曲の意味や振り付けの意味を分かりやすく教えて下さり、更に興味を持って踊っているように思います。



### 絵画教室「キッズアート」の菅我先生

春日町の菅我章さんは、大和善隣館ぬくもり大学の講師をされており、長い間お世話になっています。現在は、年長組年3回、年中組年2回のキッズアートで主にクレヨンの絵画を楽しんでいます。子どもたちに興味のある動物、虫、魚、花、野菜、恐竜、そして自画像を描いています。クレヨンの感触やさまざまな色への興味、混色の技法等を楽しんでいます。

子どもたちは、描いているうちにどんどんイメージが広がり「ほら見て、こんなになったよ」とひらめきやつぶやきがたくさん聞かれます。表現遊びを通して「多様性」を重んじた保育を心がけていきたいと思っています。



### お茶教室の武田先生

向本折町の武田香代子さんには、年長組にお茶の作法を教えていただいています。子どもたちは、教室が始まると、ちょっと緊張した面持ちで武田さんのお話に耳を傾け、正座やお辞儀などの礼儀やお茶の作法を教えていただいています。

また、先生のお宅のお庭もご厚意で貸していただき、子どもたちからは「たけださんのおにわ」と呼ばれ、様々な年齢の子どもたちの遊び場となっています。



子どもたちのことを大切に思い、いつも一生懸命に園活動に支援・指導してくださっています。このように地域の方のご協力があることで園生活だけでは経験できない人との交流や様々な体験・経験ができます。これからも地域の方のお力をお借りして、子どもたちの園生活を充実したものにしていきます。

## 令和8年度 松陽こども園の教育・保育の内容

### 【教育保育の理念】

「善隣のこころ」

いつでもどこでもそして  
だれにでもわれ等善き隣人たらん

### 【教育保育の方針】「三つのゼン」

安全 自然 積善

### 【教育保育の目標】「心身ともに健やかな子ども」

- げんきなからだ：健康な生活と遊び「**あ**いさつ」
- やさしいこころ：人との関わり「**あ**りがとう」
- がんばるちから：自分を信じて「**あ**きらめないで取り組む子」

### 【令和8年度めざす子ども像】「やりたいがあふれる子」

今年度の松陽こども園は、教育・保育目標「3つの**あ**」を大切にしています。

**あ**いさつのできる子どもを育てていきます。私たち職員は、積極的に心を込めて「**おはよう**」「**さようなら**」「**ありがとう**」と子どもたちにたくさん声をかけています。

## 0. 1. 2歳児保育参加 親子で楽しいひとときを過ごしました

講演会(講師：育松園児童家庭支援センター、ハーモニー高田拓実氏)に参加していただきました。その後、保育室や遊戯場で親子で一緒に遊んだり、園や家庭での様子を保護者の方と共有したりすることができました。とても有意義なひとときとなりました。



「親子でつくってあそぼう」...  
かえるのふきもどし



みんなで絵本の読み聞かせを聴きました

### 保護者の方より講演会の感想をいただきました。

＝演題：子どもが社会に出ていくために必要なこと＝

とてもよかったです。

今の自分たちの育て方が正しいのか、正解はないとわかっていても良い悪いも判断がわかりませんでした。指標として知ることができました。また、普段の子どもに対する接し方を見直すことにもつながり、自信になることもありました。

成長するにつれての注意点も知ることができたので、心構えや対応の引き出しが増えたので頑張りたいと思いました。

## 避難訓練 第二避難場所(大領中町公民館)へ避難する訓練を行いました。

月に1度、避難訓練を行っています。実際に災害を想定しながら子どもの命を守るためにとるべき職員の判断、行動は何かを第一に考えています。

7月は、給食室から出火という想定で園を出て第二避難場所へ避難する訓練でした。3、4、5歳児の幼児は、保育者の指示に従い速やかに外へ出て避難の用意ができていました。0.1.2歳児の未満児は、不安を与えずに保育者が冷静に対応しながら散歩車や誘導ロープなどを使用して無事、避難所までたどり着くことができました。



避難訓練の様子★



園には、災害時の備蓄品として食材(哺乳瓶、お粥、カロリーメイト、ライスクッキー)、簡易トイレや発電機などがあり、災害に対応できるようにしています。当園が向本折校下の避難場所となった際**3日分**の備蓄品が園内に**AED**とともに設置されております。



### AED



事務所に常に  
置いてあります。

看護師から AED の使い方を学びました。